

# ■逍遥歌「花の霞に」

吉田正己作詞  
打垣内正作曲

$\text{♩} = 72$

The musical score is written for voice and piano. It consists of five systems of music. The first system includes a tempo marking of quarter note = 72 and a dynamic marking of *mf*. The second system has a dynamic marking of *mp*. The third system has a dynamic marking of *f*. The fourth system has a dynamic marking of *f*. The fifth system has a dynamic marking of *mp*. The lyrics are written in Japanese and are aligned with the vocal line.

1. はなのかすみにつつまれしかたまの  
2. はるさめけふるなぐさおか

うてなのおばしまにさんらのゆめ  
ひきにくれゆけばとこしえとけぬ

いまたけてかどでをいおうさかづき  
しゆんじゆうをさそううじょうのさはなふぶ

やきわなかきのひとみのぬるるかなる  
かりんかねすひがたしのばる

- 一、花の霞に包まれし  
玉の台のおばしまに  
驂鸞の夢今たけて  
門出を祝ふ蓋や  
若き眸のぬるるかな
- 二、春雨煙る名草丘  
鐘の響に暮れ行けば  
永久とけぬ春愁を  
誘ふ有情の花ふぶき  
輪廻のすがた偲ばるる
- 三、青葉を渡る爽風に  
薨もにはふ伏虎城  
樹林の小路さまよえば  
遙かに仰ぐ大空の  
白き飛雲に啓示あり
- 四、野辺の芒に秋たけて  
空はろばるとなき渡る  
孤雁の影を眺めては  
あつき心に若人が  
懐郷の歌うたふかな
- 五、静寂の冬の小夜ふけて  
弦月 淡し和歌の浦  
独りみきはに佇めば  
寄せては返す片男波  
深き思索を誘ふなり
- 六、真理の道は遠けれど  
古賢の教へひもときて  
朝な夕なに吟ずれば  
希望の光ほのほのと  
神秘のやみを照すかな
- 七、ああ我が友と円居して  
廻る四星霜の春秋の  
つきぬ理想を語りつつ  
友情の盃をくみ交はす  
今宵宴の花むしろ